



2022年8月8日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピューティクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 経営企画室長 山北 真子
TEL 052-218-8785

角膜内皮の再生医療 早期事業化を目指す
-再生医療用細胞製品「DWR-2206」の製造を J-TEC に委託-

当社とアクチュアライズ株式会社（以下、「アクチュアライズ」）が共同で開発を進める角膜内皮の再生医療用細胞製品候補（当社開発コード：DWR-2206、アクチュアライズ開発コード：AE101、以下、「DWR-2206」）について、アクチュアライズは株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（以下、「J-TEC」）へ DWR-2206 の製造を委託する契約を締結しましたので、お知らせいたします。

角膜内皮は角膜の内側に位置しており、角膜を透明に維持するために不可欠です。この角膜内皮が障害されると、角膜が白濁し透明性を失うことで、重度の視力障害を生じます。角膜内皮障害に対する現在の治療法は角膜移植のみですが、世界的なドナー不足など様々な問題があり、新たな治療法が求められています。

J-TEC は、眼科領域で国内初の再生医療等製品及び第二の製品を相次いで開発・上市し、眼科領域における再生医療の道を切り拓きました J-TEC に製造委託することで、同社の知見とノウハウを活かし、角膜内皮の新たな治療法である DWR-2206 の早期事業化を目指します。

J-TEC の再生医療受託事業については、同社のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jppte.co.jp/business/cdmo-cro/index.html>

以 上

アクチュアライズ株式会社について

小泉範子及び奥村直毅（ともに同志社大学生命医科学部教授・眼科医）の研究成果によって設立されたバイオベンチャー企業です。フックス角膜内皮ジストロフィ及び水疱性角膜症などの角膜内皮障害への再生医療及び薬物治療の研究開発を行っています。詳細につきましては、アクチュアライズ株式会社ウェブサイト www.actualeyes.co.jp をご参照ください。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングについて

J-TECは「再生医療をあたりまえの医療に」をビジョンに掲げる再生医療メーカーであり、日本初の再生医療等製品となる自家培養表皮「ジェイス®」をはじめ4つの再生医療等製品を製造販売しています。同社は再生医療製品事業（日本における再生医療等製品の開発・製造・販売）の他に、再生医療受託事業（再生医療に関するCDMO／CROサービス）、研究開発支援事業（研究用ヒト培養組織の開発・製造・販売）を行っています。詳細につきましては、J-TECウェブサイト www.jp-te.com をご参照ください。